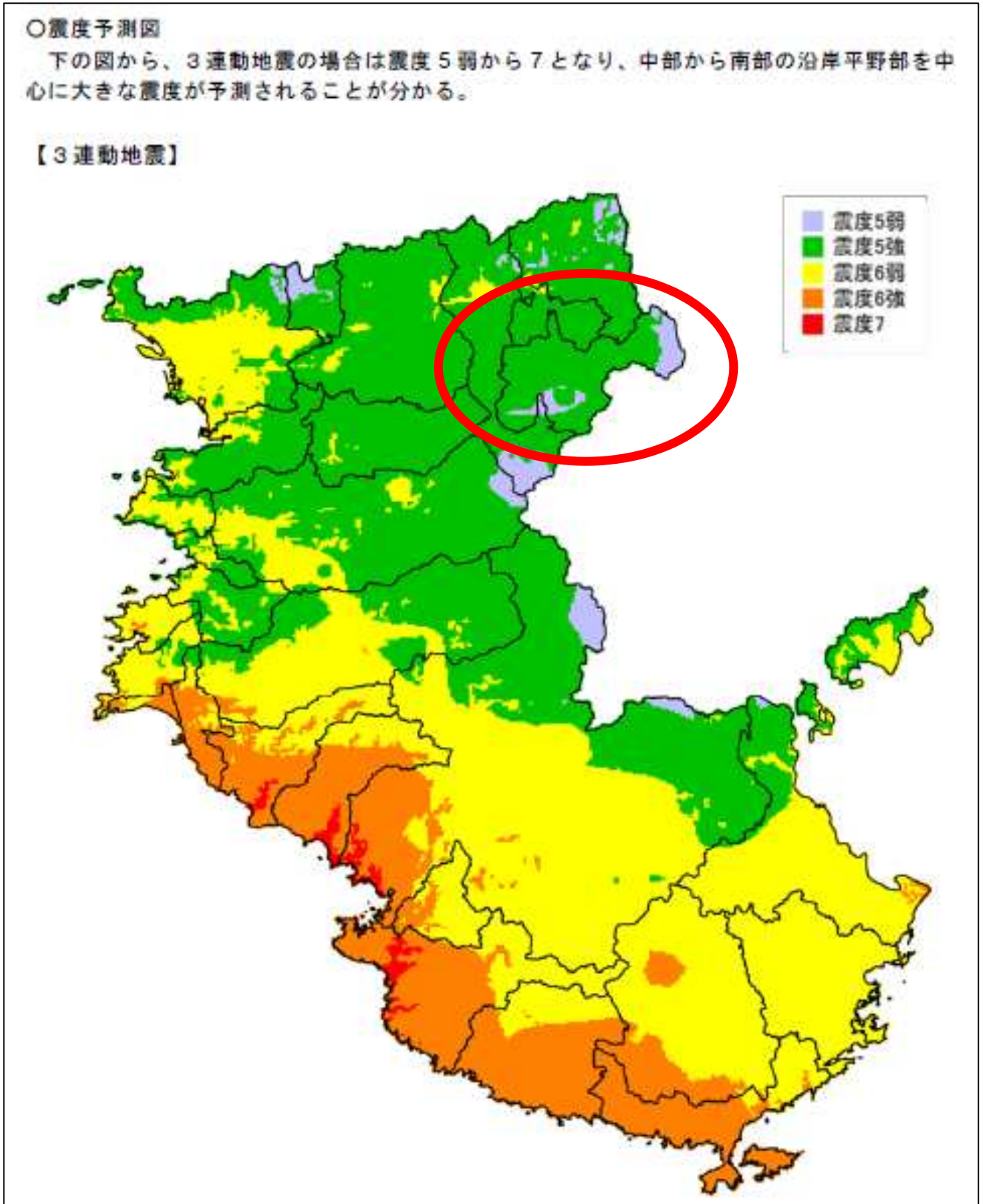


東海・東南海・南海 3 連動地震及び南海トラフ巨大地震

1. 地震動の予測

1. 東海・東南海・南海 3 連動地震



2. 南海トラフ巨大地震

一方、巨大地震の場合は震度5強から7と全県的に大きな揺れとなるが、地盤の弱い沿岸平野部で特に大きな揺れとなっている。3連動地震、巨大地震の揺れはいずれも、震源の中でも特に強い揺れを起こす範囲（強震動生成域）の影響を受けている。

【南海トラフ巨大地震】

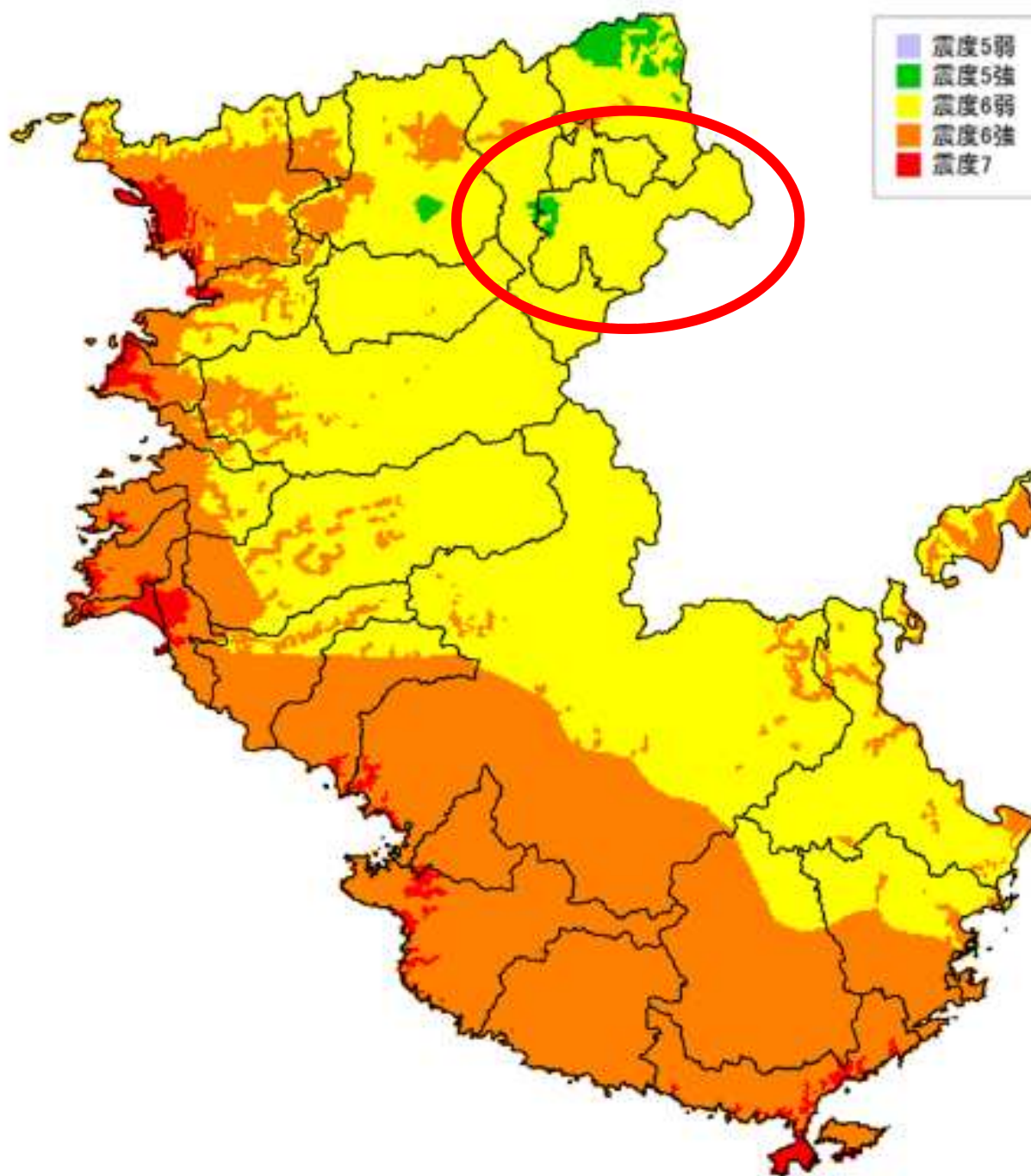


図 1-2 震度分布予測結果（南海トラフ巨大地震）

2. 液状化危険度の予測

地震被害の予測のために液状化を予測した。ここで、液状化の発生しやすさを示す液状化危険度は、地表の揺れと地盤モデルの関係から液状化指数（PL 値）を算出して評価した。以下に液状化危険度の予測図を示す。液状化危険度は揺れが大きく、地下水があり液状化を引き起こす砂層が厚い平野部を中心に高くなっている。

1. 東海・東南海・南海3連動地震

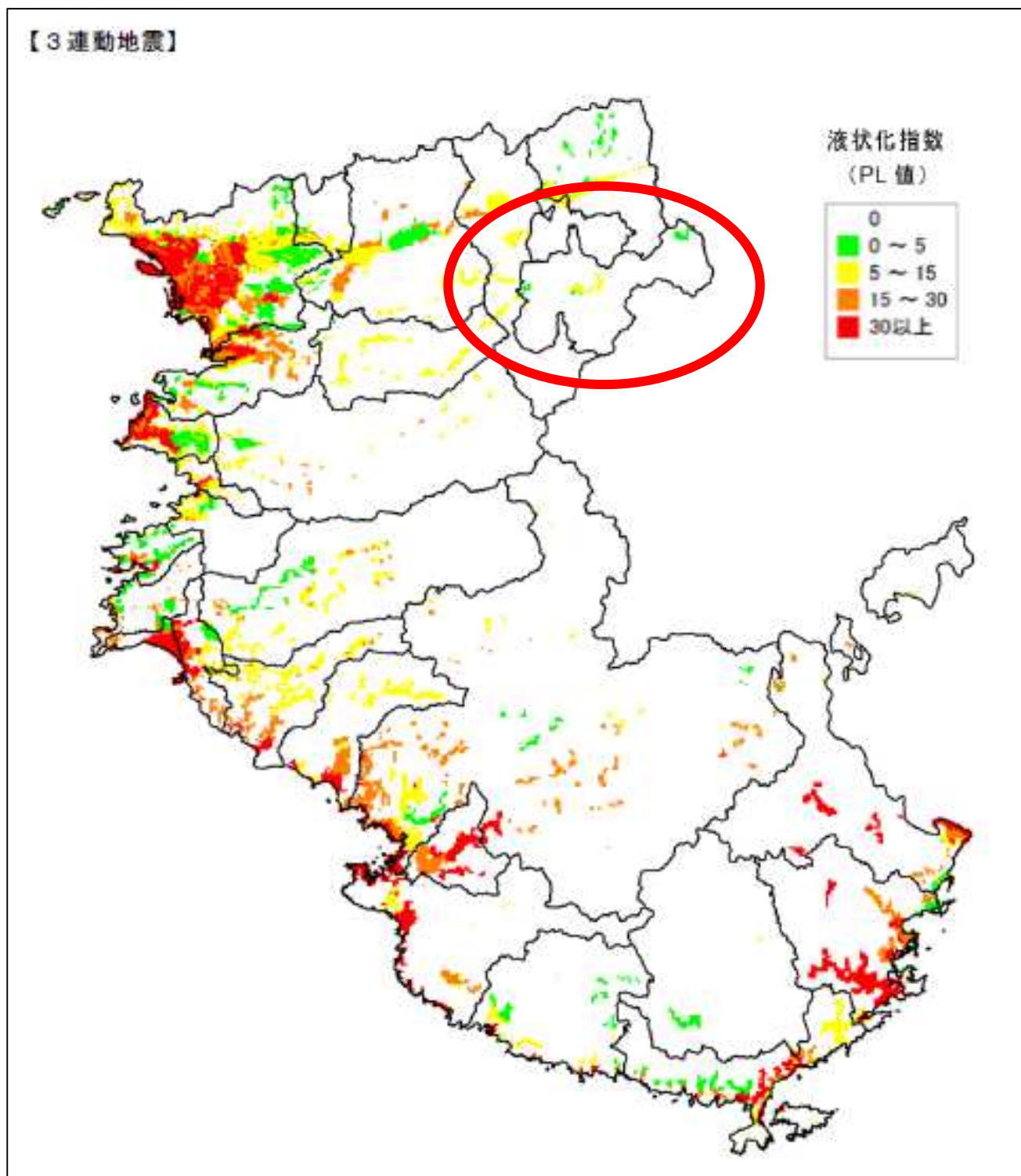


図 2-1 液状化危険度予測結果（3連動地震）

2. 南海トラフ巨大地震

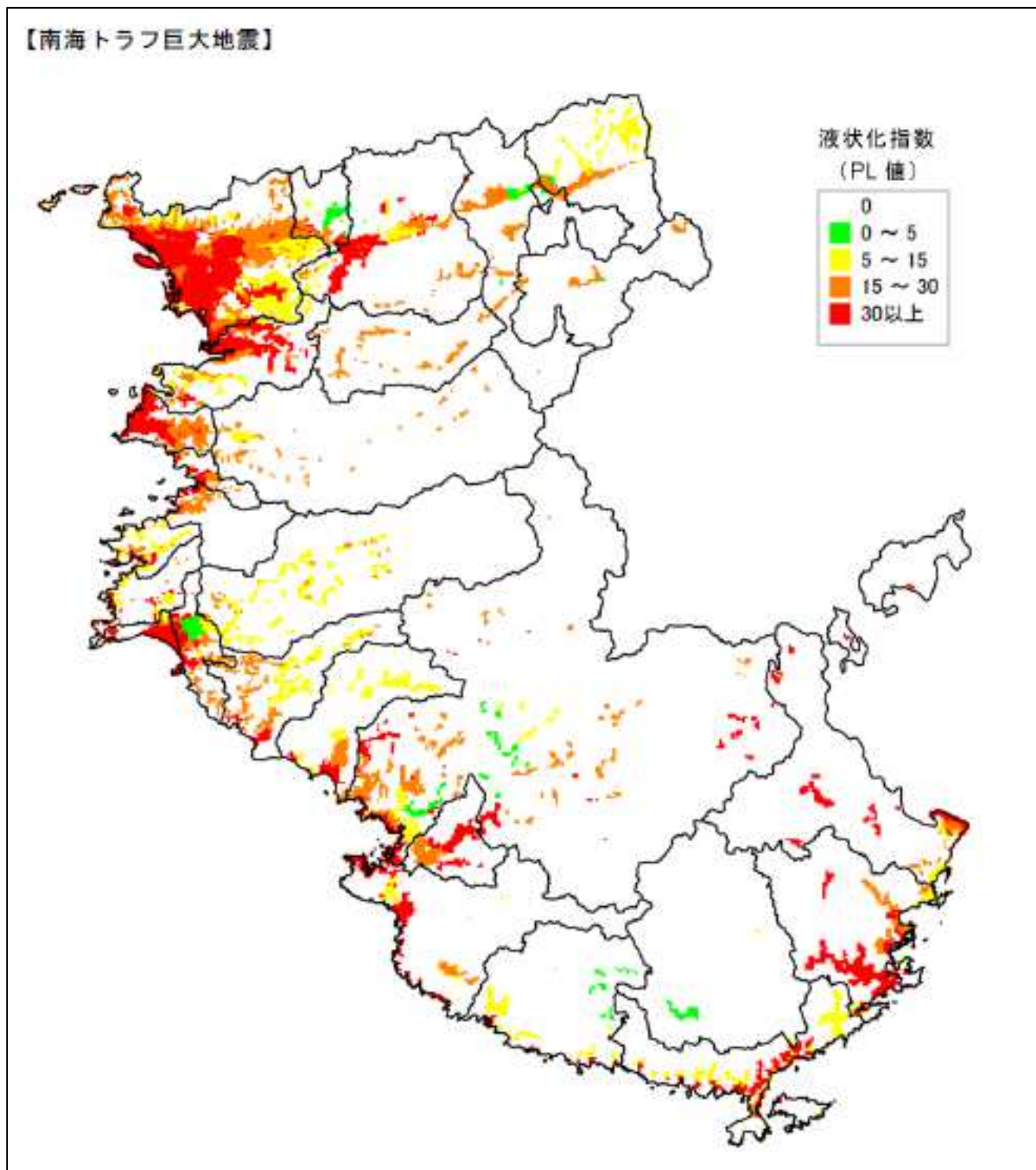


図 2-2 液状化危険度予測結果（南海トラフ巨大地震）